



シリーズ・健診

協力：医療法人社団 いしぐるクリニック

健康診断とは

健康診断とは、自分の健康度をチェックするもので、略して「健診」と呼びます。「けんしん」には「健診」と「検診」の二つがあります。「健診」はどの程度の健康状態かを知ることです。全身隈無く検査して異常がないかを探るものではなく、主な生活習慣病にターゲットを絞って調べるものです。健診の主なものには、学校保健法や労働安全衛生法に基づく法定健診、地方自治体が行う基本健診や特定健診などがあります。

検査項目が少ないので「健診で異常がなかったのでは健康である」ということではありません。あくまでも「調べた検査の範囲では異常がなかった」ということです。健診が「複数の疾患」を対象とするのに対し、ある「特定の病気」だけについて有無をチェックするものが「検診」です。検診には「がん検診」「骨粗鬆症検診」「肝炎ウイルス検診」などがあります。がん検診は、市町村などの住民検診に代表される「対策型検診」と、人間ドックなどの「任意型検診」があります。対策型検診は、がん死亡率の減少を目的として実施されるもので、公的な予防策として行われる検診のため、費用は無料か少額の自己負担で済みます。市区町村のほか、職域・医療保険

者等の保健事業としても行っています。

一方、任意型検診は医療機関が個人の死亡リスクを下げる目的で任意で実施するもので、基本的には全額自己負担です。様々な検診方法があり、自分の目的や好みに合わせて検診項目を選択できるという利点があります。

いしぐるクリニックのドックの特徴

当院では各種の健康診断はもとより、人間ドック、脳ドック、脊椎・骨ドックを実施しています。また、胃・大腸がんなど消化器がんの早期発見を目的とした「消化器ドック」を行っており、何とんでも日帰りで胃・全大腸内視鏡検査が可能なことです。ヘリコバクター・ピロリ感染の有無を診断するほか、腹部超音波検査や血液検査、腫瘍マーカーなどを検査します。マイクログレイ血液がん検査やアミノインデックスがンスクリーニング検査もオプションで選択でき、ともに僅か約10ccの血液検査でがんのスクリーニングが可能です。がん検診はどの医療機関よりも充実したものとなっております。多忙な受診者には好評です。検査で異常が発見され治療が必要な方は、引き続き当院での治療も可

能ですが、通院に便利なお近くのクリニックや診療所にも紹介しています。精密検査や手術が必要な場合は、金沢大学附属病院をはじめとする近隣の連携病院に紹介しています。

脳ドックの薦め

「脳ドック」というのは、もはや、脳の病気の早期発見、早期治療や予防には欠かせない手段です。死亡率が50%というくも膜下出血や、重篤な後遺症を残す脳出血や脳梗塞、一番罹りたくない認知症などといった脳の病気も、まだ症状が明らかになる前に、MRIやMRAを使った「脳ドック」の検査で何らかの異常が検出されることが少なくありません。脳ドックで脳動脈瘤が見付ければ、破裂する前に手術することも膜下出血を予防することができます。



理事長 石黒 修三
いしぐろ・しゅうぞう

1966年 金沢大学医学部卒業
1971年 金沢大学大学院卒業 医学博士
1976年 金沢大学医学部附属病院 講師を経て
石川県立中央病院 診療部長
同脳血管診療センター室長
同救急診療センター室長をつとめる
1992年 「いしぐろクリニック」を開設・同院長
2011年 いしぐろクリニック理事長に就任
【資格】 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医



院長 伊藤 博
いとう・ひろし

1998年 金沢大学大学院医学系研究科
博士課程卒業 医学博士
1998年 富山市立富山市民病院外科
2000年 国立金沢病院外科
2004年 Australia Brisbane Princess Alexandra Hospital
Queensland Liver Transplant Service
シニアフェロー
2006年 金沢大学医学部附属病院 救急部・
集中治療部 助教
2008年 いしぐろクリニック 副院長
2008年 金沢大学附属病院 消化器・乳腺・
移植再生外科 協力研究員
2011年 いしぐろクリニック 院長に就任
【資格】 日本消化器外科学会 専門医・指導医、
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医、日本外
科学会 専門医・指導医、日本消化器病学会 専門
医、VHU 機構臨床研修指導医、消化器がん外科
診療認定医、日本医師会認定産業医



副院長 清水 明
しみず・あきら

1993年 金沢医科大学卒業
金沢大学医学部附属病院 研修医
1994年 社会保険勝山病院 整形外科
1995年 富山県立高志学園 整形外科
1996年 富山県立中央病院 整形外科
1997年 舞鶴共済病院 整形外科
1998年 福井総合病院 整形外科
2000年 国立金沢病院 整形外科
2002年 富山県高志リハビリテーション病院
整形外科
2011年 いしぐろクリニック 副院長に就任
【資格】 日本整形外科学会 整形外科専門医

脊椎・骨ドック

す。偶然、隠れ脳出血や脳梗塞が見付かったら、それまでの生活習慣を見直し、高血圧や糖尿病を治療することで発病しないようにします。認知症でも、初期なら進行を抑える薬も効きます。MRI装置は、大型の磁石を利用したもので、放射線を使わないので安心して検査を受けることができます。また、当院の装置は最新式のオープン型ですから、従来のタイプの筒状の装置では恐怖で検査ができなかった人もできるようになりました。35歳以上のひと、ことに高血圧、糖尿病、肥満のひと、家族にくも膜下出血になったひとがいらっしゃる方には積極的にこの「脳ドック」を試してみてください。

腰痛や肩こりは誰もが一度は経験し

たことがあるのではないのでしょうか？人間は知能の発達による頭蓋の拡大と二足歩行の獲得により、頸椎や腰椎に対する負担が四足歩行動物に比べ大きいと言えます。そのうえ加齢により脊椎の変形、椎間板の圧縮、骨組織の脆弱化がおこり様々な脊椎、脊髄の問題が引き起こされると考えられます。脊椎ドックは、頸椎から仙椎まで連なる骨格と脊柱管を通る神経を調べるドックです。肩こり、手足のしびれ、腰痛、歩行障害などの原因には椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、圧迫骨折、脊髄脊椎腫瘍などの疾患があります。検査では脊椎MRI、レントゲン撮影、神経診察、動脈硬化検査を行い、それらの疾患の早期発見を目的としています。骨ドックでは骨がもろくなり骨折の原因となりうる骨粗鬆症の検査を行います。超音波による骨量測定、腰椎、大

健康診断の将来

腿骨頸部のレントゲン検査を行います。簡単な問診で将来の骨折のなりやすさを予想します。

人間ドックで何らかの検査の異常を指摘される人が、30歳台で70%を超え、60歳台になると90%を超えます。すでに予防では手遅れで、直ちに治療を要する人が10%に達しているのが実情です。健康であり続けるためには、定期的な健診が不可欠な時代となりました。現在必要とされる健診はオーダーメイドの、検査項目が多様な人間ドックです。「頭のとっぺんから足の先まで、病気になる前に、病気になる原因を見つけて治す」これこそが、当院に必要と期待されていることと自負しています。